

# Azure 向けクラウド導入フレームワークを使用して、クラウドの導入を促進する

100 XP

3 分

Azure 向けクラウド導入フレームワークでは、クラウド導入の取り組みに役立つ実証済みのガイドランスが提供されます。クラウド導入フレームワークは、クラウドで成功するために必要なビジネス戦略とテクノロジー戦略を作成して実装するのに役立ちます。

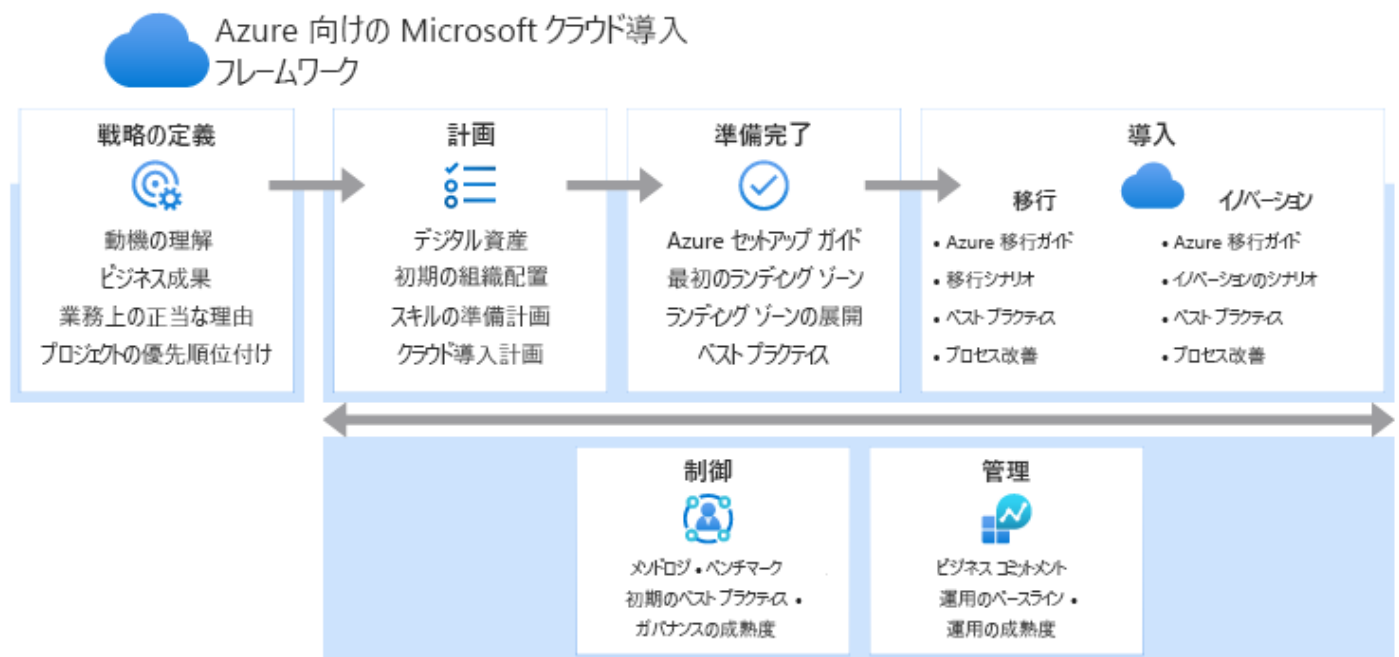
Tailwind Traders は、いくつかの業界標準に準拠するようにクラウド環境を制御する必要がありますが、どこから始めればよいかわかりません。既存のビジネス要件があり、これらの要件がオンプレミスのワークロードとどのように関連しているかはわかっています。これらの要件は、クラウドで実行するワークロードでも満たされている必要があります。

あなたは、Azure で使用できるものを調査し、Tailwind Traders 向けのガバナンス戦略を定義して実装することを依頼されました。あなたは、クラウド導入フレームワークから始めることにします。

## クラウド導入フレームワークの内容

クラウド導入フレームワークは、ツール、ドキュメント、実証済みのプラクティスで構成されています。クラウド導入フレームワークには次のステージが含まれます。

1. 戦略を定義する。
2. 計画を作成する。
3. 組織を準備する。
4. クラウドを導入する。
5. クラウド環境のガバナンスと管理を行う。



ガバナンス ステージでは、クラウドのガバナンスに重点が置かれています。クラウド ガバナンス戦略を構築するときに推奨されるガイダンスについては、クラウド導入フレームワークに関する説明を参照してください。

導入戦略を構築しやすいように、クラウド導入フレームワークの各ステージはをさらに詳しい演習と手順に分かれています。各ステージについて簡単に見てみましょう。

## 戦略を定義する

ここでは、クラウドに移行する理由と、クラウドに移行することで実現したいことを明らかにします。需要を満たすため、または新しい市場を開拓するために、拡張する必要がありますか。コストが削減されますか、またはビジネスの機敏性が向上しますか。

このステージでの手順は次のようになります。

---

1

**動機を定義して文書化する:** 利害関係者やリーダーと話し合うことは、クラウドに移行する理由を明らかにするのに役立ちます。

---

2

**ビジネスの成果を文書化する:** 財務、マーケティング、営業、人事の各グループのリーダーと話し合い、目標の文書化に役立てます。

---

3

**ビジネス ケースを作成する:** クラウドへの移行で、作業に対する適正な投資収益率 (ROI) が得られることを検証します。

---

4

**適切な最初のプロジェクトを選択する:** 達成可能でありながら、クラウド移行目標に向けた進行も示されるプロジェクトを選択します。

## 計画を作成する

ここでは、重要な目標を特定のアクションにマップする計画を作成します。適切なプランは、作業を目的のビジネス結果に確実に対応させるのに役立ちます。

このステージでの手順は次のようになります。

---

**デジタル資産:** クラウドへの移行を計画している既存のデジタル資産とワークロードのインベントリを作成します。



---

**組織の初期調整:** 技術とクラウド ガバナンス両方の観点から、適切なユーザーが移行作業に関わるようにします。



---

**スキルの準備計画:** 個人がクラウドでの運用に必要なスキルを高めるのに役立つ計画を作成します。



---

**クラウド導入計画:** 開発、運用、ビジネスの各チームを共通のクラウド導入目標に向けてまとめる包括的な計画を作成します。



## 組織を準備する

ここでは、"ランディング ゾーン" つまりワークロードのホスティングを始めるためのクラウド内の環境を作成します。

このステージでの手順は次のようになります。



---

**Azure セットアップ ガイド:** Azure セットアップ ガイドでは、ランディング ゾーンの作成に必要なツールや手法を知ることができます。



---

**Azure ランディング ゾーン:** ビジネスの主要な各分野をサポートする Azure サブスクリプションの構築を始めます。ランディング ゾーンには、クラウド インフラストラクチャだけでなく、ガバナンス、アカウンティング、セキュリティの機能が含まれています。

---

3

**ランディングゾーンを拡張する:** ランディングゾーンを調整して、運用、ガバナンス、セキュリティのニーズを満たすようにします。

4

**ベストプラクティス:** クラウド移行作業をスケーラブルで保守しやすくするのに役立つ、推奨される実証済みのプラクティスで始めます。

## クラウドを導入する

ここでは、アプリケーションのクラウドへの移行を開始します。その過程で、アプリケーションを最新化し、クラウドサービスを使用する革新的なソリューションを構築する方法が、見つかる場合があります。

クラウド導入フレームワークでは、このステージが移行とイノベーションの2つの部分に分かれています。

**移行:** このステージの移行部分の手順は次のとおりです。

**最初のワークロードを移行する:** Azure 移行ガイドを使用して、最初のプロジェクトをクラウドにデプロイします。

1

**移行のシナリオ:** さらに詳しいガイドを使用して、より複雑な移行シナリオを調べます。

2

**ベストプラクティス:** Azure クラウド移行のベストプラクティスのチェックリストを使用して、推奨されるプラクティスに従っていることを確認します。

3

**プロセスの改善:** 必要な作業を少なくして、移行プロセスをスケーリングする方法を明らかにします。

4

**イノベーション:** このステージのイノベーション部分の手順は次のとおりです。

1

**ビジネス価値の合意:** 新しいイノベーションへの投資によってビジネスに価値が付加され、顧客のニーズが満たされることを確認します。

2

**Azure イノベーションガイド:** このガイドを使用して、開発を促進し、アイデアに対する実用最小限の製品 (MVP) を構築します。

3

**ベストプラクティス:** 先に進む前に、進行が推奨されるプラクティスに対応していることを確認します。

4

**フィードバックループ:** 顧客と共に頻繁に確認し、必要なものが構築されていることを検証します。

## クラウド環境のガバナンスと管理を行う

ここでは、クラウド ガバナンス戦略とクラウド管理戦略の作成を始めます。クラウド資産が時間の経過とともに変化するにつれて、クラウド ガバナンスのプロセスとポリシーも変化します。常に最適化される回復性のあるソリューションを作成する必要があります。

**ガバナンス:** このステージのガバナンス部分の手順は次のとおりです。

---

**メソドロジ:** 最終状態のソリューションを検討します。最初の手順から完全なクラウド ガバナンスまで段階的に到達するメソドロジを定義します。



---

**ベンチマーク:** ガバナンス ベンチマーク ツールを使用して、現在の状態と将来の状態を評価し、フレームワークを適用するためのビジョンを確立します。



---

**最初のガバナンス基盤:** ガバナンス計画の最初の手順をキャプチャする MVP を作成します。



---

**最初のガバナンス基盤を改善する:** 最終状態のソリューションに向けて進行しながら明確なリスクに対処するガバナンス コントロールを反復的に追加します。



**管理:** このステージの管理部分の手順は次のとおりです。

---



**管理ベースラインを確立する:** 運用管理に対する最小限のコミットメントを定義します。管理ベースラインは、環境内のすべての資産に適用する必要がある最小限のツールとプロセスのセットです。

---



**ビジネス コミットメントの定義:** サポートされているワークロードを文書化して、ビジネスに対する運用上のコミットメントを確立し、各ワークロードに対するクラウド管理への投資に同意します。

---



**管理ベースラインを拡張する:** 推奨されるベスト プラクティスを適用して、初期管理ベースラインを繰り返し処理します。

---



**高度な運用と設計の原則:** より高いレベルのビジネス コミットメントを必要とするワークロードについては、より深いアーキテクチャ レビューを行って、回復性と信頼性のコミットメントを実現します。